

成果指標				
成果指標	事務事業費			
指標設定の考え方	国民健康保険事業を運営していく上で必要な経費であるため、事務事業費を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標28年度
目標	12140	9500	9500	9500
実績	11519	8250	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	平成30年度の広域化(愛媛県が保険者となる)に向け、各市町の事務の取扱い方法を統一する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	国の動向を見据えながら、H30の広域化に向けて県内市町及び関係機関による課題解決に向けた協議会を重ねている。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	一般管理事務に係る経費であり、当然ながら縮減に努め、適正執行を図る必要はあるものの、本来、評価対象外事務として区分すべきものである。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。